

## つながるへいわ

真喜良小学校 二年

増田 健琉

「あした、もしミサイルがはっしゃされたら学校は、お休みです。」今年の三月、きたちようせんというくがぼくたちのくににミサイルをはっ

しゃしました。そのため、しばらくのあいだは、そとで友だちとあそんだり、やきゅうのれんしゅうをすることができませんでした。

「ミサイルがおちたらどうなっちゃうのかな。きたちようせんってわるいくにだなあ。」と、ぼくが言ったら、

「でも、きたちようせんにも、健琉と同じ子どものいるかぞくがたくさんいるんだよ。その人たちは、みんな、へいわにくらしたいとねがっているはずだよ。」と、お母さんが言いました。そのときぼくは、へいわってどんなことかなあと考えました。くにとしようと、何だかむずかしくきこえるけれど、かぞくがたくさんあつまったもの、といえば、そうぞうできます。ぼくと同じで、お父さんお母さんがいて、きょうだいがいて、大せつにしたいかぞくがいる。

友だちとあそぶとたのしくて、おいしいごはんを食べるとうれしくて、けんかをするとかなしくなる。ちがうくにの人も、同じ心をもった人間です。

あい手の気もちを思いやると、自分の気もちもやさしくなって心の中がへいわになります。やさしさをもちようと、ぼくの心の中もあたたかい気もちになって心の中がへいわになります。

ぼくがえがおになると、かぞくもえがおになって、まわりの友だちもえがおになります。そうやって、どんどんえがおをつなげていって、へいわをつないでいって、しあわせなえがおいっぴいのちきゅうにしていきたいです。